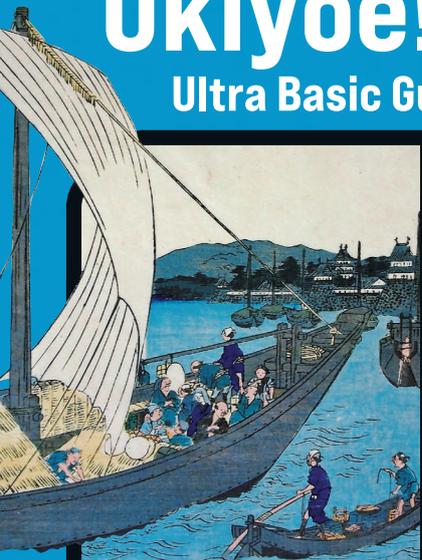


# Ukiyoe! (Picture of the Floating World):

Ultra Basic Guide for Beginners+Surprising Application of its Tradition



アートリンクとちぎ 2025

## 浮世絵超入門+超応用編



ART LINK TOCHIGI 2025  
TOCHIGI PREFECTURAL  
MUSEUM OF FINE ARTS

巻からわかる!



オドロキの



2025.7.5(土) ▶ 9.23(火・祝)

前期 7月5日[土]→8月17日[日] 後期 8月21日[木]→9月23日[火・祝]

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は開館)、7月22日(火)、8月12日(火)、19日(火)、20日(水)、9月16日(火)

観覧料 一般/大・高生 800(640)円、中学生以下無料

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料、( )内は20名以上の団体料金 \*企画展の料金に収蔵品展1の観覧料が含まれます \*「家庭の日」の第3日曜日(7月20日、8月17日、9月21日)は中学生以下の子どもの同伴者2名まで観覧無料。

主催 栃木市教育委員会、栃木市立美術館、栃木県立美術館

後援 朝日新聞宇都宮総局、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、ケーブルテレビ栃木、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送

栃木市立美術館・文学館企業等サポーター 滝沢ハム株式会社、栃木信用金庫、株式会社ホンダカーズ栃木中央、株式会社興光製作所、トヨタホーム株式会社栃木事業所、ケーブルテレビ株式会社、とちぎ行政書士法人(令和7年6月1日現在、口数・申込順)



栃木市立美術館  
Tochigi City Art Museum

[www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/](http://www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/)

〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26

Tel : 0282-25-5300

左側上から: 歌川広重《五十三次名所回会 桑名》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、菊川三「國華」掲載図版《東洲寄写楽 嵐龍藏図》栃木県立美術館蔵(前期展示)、菊川三「國華」掲載図版《善多川歌麿 納涼美人図》栃木県立美術館蔵(前期展示)、楊洲周延《全盛期の賑い》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、歌川国貞《三代豊国》(武蔵坊弁蔵) (部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、歌川広重《五十三次名所回会 駒子》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、右側上から: 喜原國貞《家経扇の精》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、桂洲周延《秋葉花の露》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、桂島善平《八代目松本幸四郎の祿藏》1949年 栃木県立美術館蔵、二代歌川広重《大井川蓮台之図》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、歌川広重《名所江戸百景 豊かせき》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、善多川歌麿《御所華美人行列》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)、歌川広重《両国納涼大花火》(部分) 栃木市蔵(石川常四郎コレクション)



江戸時代の庶民に愛された浮世絵は今や日本を代表する伝統文化として世界中の人びとから注目されています。この展覧会では浮世絵の歴史やさまざまな表現をわかりやすく学びます。



関連企画イベント

◆学芸員によるギャラリートーク

日時=7月5日(土)  
午後2時~ 1時間程度  
対象=どなたでも  
参加費=無料(要当日の企画展観覧券)  
集合場所=展示室A

◆美術館・文学館でミッションに挑戦!

美・文サポーターから出題されるミッションに挑戦します。

日時=8月17日(日)  
午前10時~11時30分

対象=小学生  
定員=15名(事前申込制)  
参加費=無料  
集合場所=多目的室(つなてみち)  
申込開始日=6月28日(土) 午前10時~  
申込方法=電話:0282-25-5300



◆学芸員によるキッズギャラリートーク

日時=8月17日(日)  
午後2時~2時30分

対象=小学生  
集合場所=ロビー

◆ワークショップ「浮世絵摺り体験!」

体験用の版木で浮世絵の摺りに挑戦!

日時=①8月3日(日) ②9月20日(土)

午後1時30分~3時30分

場所=多目的室(つなてみち)

対象=①小学校4年生~中学生とその保護者  
(小学生は保護者の同伴必須)

②高校生以上

定員=①5組10名 ②5名

(要事前申込、先着順)

材料費=1人300円(紙代等)

申込開始日=①6月28日(土) 午前10時~

②7月5日(土) 午前10時~

申込方法=電話:0282-25-5300

\*展示室にて一部作品の鑑賞を含むため、要企画展観覧券

◆ミニ講座

「浮世絵超入門! 浮世絵のミカタ」

日時=8月24日(日)  
午前11時~11時45分

講師=担当学芸員

場所=多目的室  
(つなてみち)

対象=小学生以上

定員=30名

(当日先着)

参加費=無料



いち 第壹部 昔からわかる! 浮世絵超入門

◎「國華」掲載図版で学ぶ浮世絵

栃木県ゆかりの日本画家・菊川京三が制作した美術専門学術誌「國華」掲載図版によって、菱川師宣から東洲斎写楽まで、浮世絵の歴史をおさらいします。

◎栃木市蔵 石川常四郎コレクションに見る浮世絵のさまざま

美人画や芝居絵、旅の難所や四季折々のにぎわい、そして不気味なものへの姿と、江戸時代から明治時代に至る浮世絵が描いたさまざまなジャンルを紹介いたします。

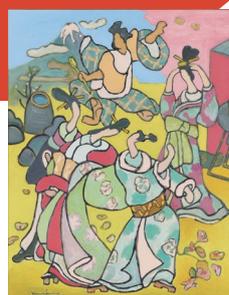
に 第貳部 オドロキの超応用編

◎日英風景画対決、そして鉄道の登場へ

日本が誇る歌川広重、イギリスを代表するターナー、ほぼ同じ時代に活躍した日英の巨匠の対決です。広重の《東海道五拾三次》の刊行が始まったのは1833年頃、なんとその3年前に世界初の鉄道が生まれていました。リヴァプールとマンチェスターを結ぶ鉄道の記録画をご紹介します。19世紀の旅の変化をご覧ください。

◎生き残る浮世絵

近代日本の洋画家や版画家も浮世絵を意識した作品を生んでいます。さらには現代のアーティストも浮世絵から発想した作品を制作しています。江戸時代の日本が生んだ浮世絵は今も生き続けているのです。



1. 深沢史朗(Sharaku and I 176-3)1976年 栃木県立美術館蔵 2. 木村荘八(歌妓支度)1930年 小杉放庵記念日光美術館蔵 3. 福田美蘭(高飾北斎 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏)1996年 栃木県立美術館蔵 4. 川島理一郎(浮世絵の誘惑)1969年 栃木県立美術館蔵 5. 世島喜平(海老蔵の濡髪長五郎)1948-51年 栃木県立美術館蔵 6. J.M.W.ターナー「イングランド南岸のピクチャレスクな風景」より《プリマス・ドック、デヴォンシャー》1826年刊行 栃木県立美術館蔵(後期展示) 7. T.T.ペリー「リヴァプール・アンド・マンチェスター鉄道の彩色風景」より《サンキー・ヴァレーの高架橋》1831年刊行 栃木県立美術館蔵(前期展示)

収蔵品展 I

■場所=展示室C

■観覧料=一般/大高生 330(260)円 中学生以下無料

\*身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介助者1名は無料

\* ( )内は20名以上の団体料金

\*企画展の料金で収蔵品展 I を無料観覧できます

喜多川歌麿の高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」を展示します。また、吉原遊郭の年中行事を描いた江戸時代の絵本「青楼絵本年行事」(十返舎一著、喜多川歌麿画)や、その後の時代に版画技術を用いて作られた本などを展示します。

栃木市立文学館

企画展 くじけないで~柴田トヨのこぼ~ ■9月28日(日)まで

■場所=2階多目的室 ■観覧料=一般/大高生 330(260)円 中学生以下無料

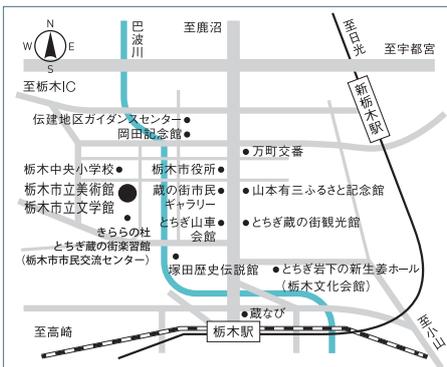
\* ( )内は20名以上の団体料金 \*企画展の料金で常設展を無料観覧できます

オドロキの浮世絵リンク 佐野市立吉澤記念美術館のご案内

特別企画展「江戸から明治、本と浮世絵のオドロキ」 ■7月19日(土)~10月19日(日)

■佐野市立吉澤記念美術館 栃木県佐野市葛生東1-14-30 TEL:0283-86-2008

M割を利用して割引料金でご覧いただけます。スタンプラリーも実施します。



交通アクセス

【電車】栃木駅(JR両毛線、東武日光線)下車、北口から徒歩約20分

【バス】栃木駅北口からふれあいバス「市街地循環線(西回り)」等で「藤沼酒店前」下車、徒歩約1分

【車】東北自動車道、栃木ICから約10分

栃木市立美術館  
Tochigi City Art Museum

www.city.tochigi.lg.jp/site/museum-tcam/  
〒328-0016 栃木県栃木市入舟町7-26 Tel: 0282-25-5300

